

# 顔の骨痩せに美容医療の視点で対策を

## 日本女性の顔は「骨」が痩せやすくなって本当ですか？

顔の骨が痩せるのは将来の姿ではなく、30代には顔の「骨痩せ」が目に見えてくるといわれています。私たちが老化を感じていた顔の変化は、じつは骨のせいだったとしても過言ではないでしょう。美容クリニックでお話をお聞きしました。

**顔の骨は面が変わってしまうので見た目に表れる**

「人間の体は骨がすべての土台です。それは顔も同じ。まず骨格が基本になっていて、その骨格の上に筋肉が乗って、脂肪が乗って、それから皮膚が乗っている」と語るのは、銀座の美容クリニックで院長を務める中野あい先生です。美容クリニックで私たちは、顔の皮膚や脂肪に目を向けがちですが、中野先生は「まず骨」といいます。「顔の骨も体の骨と同じように骨粗鬆症になりますし、女性は更年期を過ぎると骨が老化するものです」。体の骨はアウトラインが変わらず中身がスカスカになりますが、顔の骨は「面」で変化していくため、見た目に影響を与えてしまうという点で異なります。「上からいうとまず顔、こめかみ、頬の中央、

が平らになります。目の周囲の空洞（眼窩）や鼻の空洞（鼻腔）や副鼻腔）が広がり、顔の下側も細くなっていきます。こうして骨が痩せる部分は、土台が小さく頼りなくなってしまうため、上に乗る筋肉や脂肪、皮膚を支えきれません。

**日本女性は骨が痩せてくると顔の輪郭が緩みやすい**

「実際には骨だけでなく同時に筋肉や脂肪も衰え、皮膚もハリが失われてきます。つまり、全層的に、貧弱になるのです。痩せた骨格にゆるゆるの服を着せたような状態で、それが、たるみ」と呼ばれます。特に日本女性の場合は、骨格が欧米人に比べて華奢なことからもわかるように、顔の骨も華奢。なかでも下顎骨（下顎の骨）が小さくて薄い。フェイスラインの骨が頼

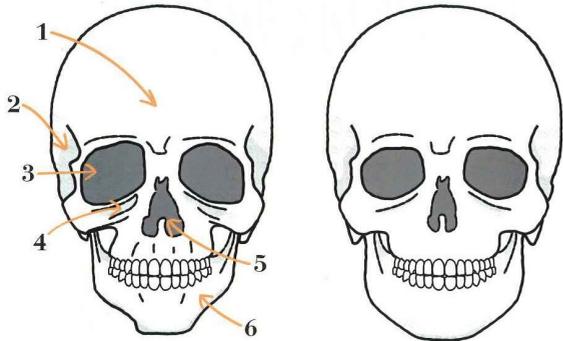
りないのです。しかも日本女性は、その骨が年齢とともに痩せやすいうです。下顎骨が痩せると、下顎骨周辺にある脂肪や皮膚がだぶついて顔の輪郭が緩みます。輪郭の緩みが骨から始まっているとすると、暖味なフェイスラインを肌のケアだけで立て直そうというのは無理があるということ。さらにはたたく必要があれば、骨レベルでの対策」が必要だ。

「パリやモナコの学会では、美容の基準としてアンジェリーナ・ジョリーの顔写真がよく出てきます。あの顔立ちのすべてが黄金比率であり、骨格がしっかりある顔立ちこそ、欧米人の憧れる美しいです。下顎骨がないときれいにならないのです」。この感覚はいまの日本女性には薄いかもしれませんが、もしかすると年齢を重ねて顔の骨が痩せてしまったときに、その真意に気づかされるでしょう。

**中野あい先生**  
お話を伺ったのは……  
なかのあい先生は美容皮膚科内科医。2003年東京・銀座に美容クリニックを開業し、20年以上にわたる美容医療のバイオニアとして信頼を集めてきた。パリやモナコ、イタリアなど海外の全米や美容医療業界でも研修を重ね、最先端の製剤・製剤のアジア展開の視点や技術力を頼りにする芸能人、美容業界の顧客も多数。

20歳を過ぎると顔の骨は6つのポイントで痩せていきます

年齢を重ねた頭蓋骨 ← 20歳ごろの頭蓋骨



**1** 顔の骨は痩せて平らになってくる。若いころに丸みがあった顔も、骨が痩せると影ができるように。顔がこつこつして見える要因。

**2** 皮膚が薄く脂肪や筋肉が足りないぶん、骨が痩せたらわかりやすいこめかみ。こめかみが窪んできたら顔の骨が痩せ始めている証拠。

**3** 眼窩は斜め方向（眉間側と外側の下向き）に空洞が広がる。年齢とともに目の下のクマや影、まぶたの落ち込みが目立つようになる。

**4** 頭蓋骨で日本女性が特に痩せやすい部分のひとつ、頬の内側。ここの骨が痩せると頬の中央の高さがなくなり、顔が平面的になる。

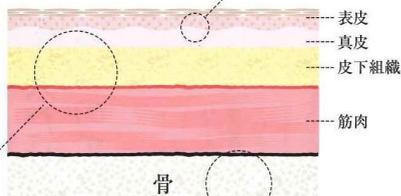
**5** 鼻腔と副鼻腔も年齢とともに広がる。小鼻が広がりは平べったくなり、鼻が大きくなるのは、骨が鼻を支え切れなくなってしまうから。

**6** 日本女性の多くが痩せてしまいがちな下顎骨。ここが痩せると、頬や輪郭の脂肪や筋肉を支え切れず、余った皮膚もたるんでくる。

近い将来、顔の骨痩せのための治療が誕生する？

「低分子と高分子のヒアルロン酸（ハイブリッド共同複合体）の新しい働きに関する論文があり、その論文をもとにイタリアの企業が顔の骨の再生に働きかける製材を開発中。現状ではその企業の製材は皮膚（表皮や真皮）に注射するものと皮下組織（脂肪）に注射するもののみですが、これが骨にも作用しているようだとうっ観点から研究が進められています。これが完成したら、いままではなかった「顔の骨への美容医療」が受けられるようになります！」（中野先生）

年齢とともに私たちは「全層的に」痩せている



年齢とともに欲しい部位の皮下組織（脂肪）は減っていき、不要な部位にたまるように。筋肉も使わない部分から痩せていきます。

骨はすべての土台。骨が痩せると、その上の筋肉や皮下組織、皮膚を支えられなくなり、それが雪崩れのようにたまるようになります。

**負担になった顔の足りない部位に中身を足す治療**

「こうした顔の「骨痩せ」に美容医療ではどんなアプローチが可能なのでしょうか。「少し前までは骨と筋肉と脂肪をつない

でいる靭帯を、ヒアルロン酸を杭打ちのように注入して、点で止める」という治療を行っていました。ほかの組織と同じように靭帯も緩んでくるので、それで止めてあげると表面が上がって見えるという仕組みです。最近では低分子と高分子のヒアルロン酸を用いた新しい製材（ハ